

『Kayak in Hirado』



狙 い：

人力移動の手段、シーカヤックを活用して、自然豊かな平戸島を旅するエコツアー『Kayak in Hirado』を行い、平戸島の魅力を全国に発信して、観光振興に寄与すると同時に、海洋レクリエーションの普及推進に努める。

対 象：

全国から募集

料 金：

84,000 円

日 時：

平成21年5月～10月

参加人員：

平成21年度 15名

『Kayak in Hirado』の概要：

(who)

自然ガイド『自然の中で』末永直樹が

(when)

平成21年5月～10月までの6ヶ月間 合計12回

(where)

平戸島で

(what)

シーカヤックの商業ツアーの『Kayak in Hirado』を

(why)

各地で推進されている「エコツーリズム」と国の海洋に関する教育の推進及び、海洋に関するレクリエーションの普及等のために必要な措置を講ずるという考え方が、それぞれ[エコツーリズム推進法]と「水産基本法」で明文化されました。そこで、西海国立公園である平戸島を「海に囲まれた豊かな自然」「水産県長崎」「希少植物の宝庫」「オランダ貿易の発祥地」「長崎から世界遺産を」などをキーワードにして、平戸の豊かな[自然][歴史と文化][産業]を海から巡り、地域の人々と【ふれあい】、6泊7日の行程で、民泊と3泊4日の野営を続けながら、平戸をシーカヤックで巡る『Kayak in Hirado』を企画しました。

企画者は、この活動を通して、平戸市の観光振興と参加者が自然とふれあうことの喜びを感じていただけることを心より願っております。

(how)

シーカヤックで平戸島を巡り、平戸の山への登り、平戸の産業を体験し、地元の方々とのふれあいを持ちます。

ツアーのポイント：

- [エコツーリズム推進法]と「水産基本法」に則った活動
- 西海国立公園である平戸島をシーカヤックで巡る
- 【自然】【歴史と文化】【産業】を海から巡り、地域の人々と【ふれあい】を持つ旅

『Kayak in Hirado』あたっての事前調査の：

- シーカヤック航行における潮流・潮汐・風等の影響を検証、漁業者への海況についての聴取を実施
- 上記を反映して、『Kayak in Hirado』の運行管理規定の作成
- 危急時対応のために、避難経路の確認
- ツアー中の水確保のための調査
- シーカヤックで入ることができる海侵洞の調査
- 海から見える観光資源、海岸から歩いていくことができる観光資源の調査

例：海岸から望むことができる

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

「紐差教会 宝亀教会 田平教会」

「海水から塩作りを見学」「平戸メノウ」

「柱状節理」

- 幕営（キャンプ）適地の調査
- 『Kayak in Hirado』広報用の写真撮影
- シーカヤック航跡のビューポイント（礫岩・志々伎山・安満岳）の調査
- 海岸近くの名物店（飲食・工芸・宿泊）の調査
- 荒天時対応（南九十九島ツアー拠点を移動2泊3日）時の平戸市ガイドポイントの調査
- 案：登山・平戸市内観光・生月島観光
- その他

『Kayak in Hirado』の広報：

- 事前調査を含めての新聞による告知
- 各種雑誌への投稿
- テレビ局への企画提案
- ホームページでの広告
- 地元での報告会及び講演